

2025 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ココペリ  
代表者名 代 表 取 締 役 CEO 近 藤 繁  
(コード番号：4167 東証グロース)  
問合せ先 取締役コーポレート事業部 馬庭 興平  
ゼネラルマネージャー  
info-ir@kokopelli-inc.jp

ココペリグループのキー・ポイント株式会社、  
徳島大正銀行へ DX 支援ツール「GrpMail」「WebFile」を提供開始

当社のグループ会社であるキー・ポイント株式会社（以下 キー・ポイント）が提供するメール共有管理システム「GrpMail」、ファイル送信・共有サービス「WebFile」が株式会社徳島大正銀行（徳島県徳島市、代表取締役頭取：板東豊彦）にて 2025 年 3 月 11 日よりサービスを開始いたします。

「GrpMail」、「WebFile」はこれまで累計 2,000 社以上に導入され、20 年以上にわたり企業の安全でスムーズな情報共有を支えてきました。

両サービスの導入により、メールの送信ミスや情報漏洩リスクを大幅に低減し、ファイルの送受信や管理を一元化することで金融機関の DX、業務効率化、セキュリティ向上に貢献します。



■ 「GrpMail」「WebFile」導入の背景

近年の金融庁の監督指針では、デジタル化の推進とリスク管理の強化が強調されており、金融商品取引業者には、電子募集取扱業務の適正性、システムリスクの管理、および顧客資産の保護に対する詳細な指針が設けられています。これを背景に「GrpMail」、「WebFile」の導入は、このデジタル化推進、リスク管理の一環として位置付けられています。

「GrpMail」では、営業店ごとの共有メールアドレス運用を可能にし、個人アドレス支給のリスクを抑えながら、効率的なコミュニケーションを実現します。

また、「WebFile」との連携により、従来の PPAP 方式（※）に依存せず、よりセキュアな環境でのファイル送受信・共有・管理を可能にします。

徳島大正銀行では、共有メールアドレスの運用における対応の不透明さや、従来の環境による業務負担の増加、PPAP 運用継続によるセキュリティリスクといった課題を解決するため、メール共有管理システム「GrpMail」と、ファイル送信・共有サービス「WebFile」の導入に至りました。

※ PPAP 方式とは、メールで添付ファイルを送る際に暗号化 ZIP ファイルを送り、別のメールでパスワードを送る方法のこと。

## ■ 「GrpMail」の特徴

「GrpMail」は、複数人で一つのメールアドレスを共有し、一元的にメール管理を行える革新的なシステムです。直感的に操作できるシンプルなユーザーインターフェースを備え、教育コストを削減しつつ、二重対応や対応漏れを防止します。タグ機能によりメールの分類が簡単にでき、返信待ちのメールも見逃すことなく管理可能です。「GrpMail」は20年の実績を持ち、安定したサポートと信頼性を提供するため、ビジネスの効率化に最適です。

## ■ 「WebFile」の特徴

「WebFile」は、企業間の大容量ファイル送受信とストレージ管理を簡易化するサービスです。このシステムを使用することで、ファイルの送信、回収、保管を一括で行い、作業効率を大幅に向上させることができます。セキュリティは高度で、誤送信防止や情報漏洩対策も充実しており、管理者による承認プロセスも設けられています。また、ファイルの一斉配布や収集が可能で、特に大量の情報を扱う際に効率的です。このシステムは、企業の業務プロセスを効率化し、セキュリティを保ちながら情報共有をスムーズに行う手助けをします。

## ■ 今後について

「GrpMail」、「WebFile」はサービスの強化を進め、ユーザー基盤のさらなる拡大、そして日本のあらゆる企業のDXの実現を目指してまいります。

キー・ポイントはすでに自治体や大手企業等へサービスを提供しております。2023年11月よりココペリグループとなったことで、ココペリの提携をしている全国の金融機関へ順次キー・ポイントを紹介しており、M&Aによるシナジー効果が生まれ始めております。

現在他にもいくつかの金融機関がキー・ポイントのサービス導入を決定・検討をしており、今後も「GrpMail」、「WebFile」を金融機関へ展開して参ります。